



さきばる

さいごまで きあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

3月19日(木)

「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

崎原で越冬するサシバについて

校長 長崎 克則



ぴっくー！

「サシバが近くに見えますね。」

崎原小中学校に来校された複数のお客様から、このような感想をいただきました。確かに本校では【図1】のように、サシバを目の前で観察する機会に恵まれています。

サシバとは

中型のタカの仲間です。集団で渡りをするタカとして有名で、日本には夏鳥として飛来します。カエルなどの両生類、トカゲ・ヘビなど爬虫類、大型の昆虫類を好み、時には小鳥も襲うこともあります。

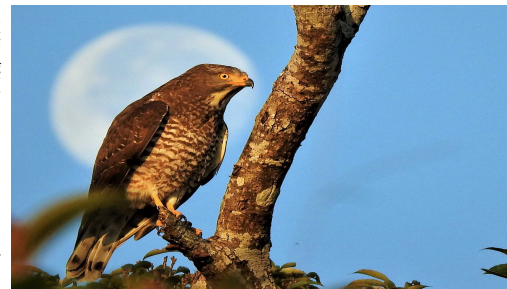
奄美・沖縄地方では越冬する個体も多数観察されていますが、現在は環境省レッドリスト（絶滅危惧種）に登録され、保護の必要性が訴えられています。「サシバを繁殖地・中継地・越冬地で守る」という保護活動も進められています。

昨年

崎原でサシバのタカ柱を確認し、飛来を確認したのは10月4日でした。2月26日現在で、145日が経過

したことになります。初めは中継のための休息地として一時的に立ち寄ったものと思っていたのですが、結果として崎原で越冬をすることを判断したようです。私は、チャンスがあればサシバの写真撮影を行い、1,000枚近い写真データがたまってきました。くちばしの色や体の模様から分析して、崎原小中学校の敷地には2羽のサシバが定着していることがわかります。

このことで、大集団で移動するサシバも越冬地では個々になわばりを持ち、春になるまで固定された場所で越冬しているというのが見えてきます。しかし、残念ながら雌雄についてはまだわかってはいません。



【図2 月とサシバ】

ここで紹介したいのは

崎原で越冬しているこのサシバが、【非常に人に慣れている。】ということです。例えば、校庭で草刈りなど農機具を使った作業をしていると、サシバが背後によってきます。これは、サシバが草藪や畑から出てきたトカゲや昆虫などの小動物を効率よく捕食することを学習した結果なのでしょう。

また、天敵の攻撃を避けるために、電柱や電線など開けた場所で夜を過ごすことが多いのも、サシバの行動の特徴となっています。

これらの行動の背景には、サシバが繁殖する「里山」という環境に要因があるのではないかと考えています。

里山とは

原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、池、草原などで構成される地域を指します。

つまり、農林業など古来、人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきた環境のことです。

里山で繁殖・生育するサシバは、人間や農林業に近い場所で生活を営む、人間に近い存在の猛禽類であるともいえるのではないのでしょうか。

「ぴっくー」

という鳴き声がおなじみのサシバですが、ここ数日は「きんみー」という鳴き声に変わってきました。しかも、数羽で鳴き交わしているようです。いよいよ、サシバの北帰行が始まるのでしょうか。来年の秋、同じ個体のサシバが崎原に戻ってきてくれることを子どもたちとともに待っています。



【図3 サシバカードを作ってみた】

児童生徒の受賞 ～ 光り輝け 崎原っ子 ～

来年度の「親子読書啓発ポスター」に採用されることと思います。受賞おめでとうございます。

【令和2年度「毎月23日は子どもといっしょに読書の日」ポスター原画コンクール

最優秀賞 村田優佳 (中2)

剣の理法の修練による人間形成の道 ～ 剣道の授業(中学校) ～

剣道指導者の沖島基太先生（奄美三味線経営）をお招きし、「武道」（体育実技必修）において剣道指導を行っていただきました。まず、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である。」という「剣道の理念」を教えていただきました。最初は防具のつけ方にも戸惑っていた生徒たちでしたが、徐々に基本となる「礼」・「足さばき」・「竹刀の持ち方」・「素振り」など、スムーズに行えるようになり、より楽しんで授業を受けることができるようになりなりました。そして、最後の日には試合を行いました。初めてということもあり、全員が緊張している様子でしたが、これまで習ってきた「面・胴・小手」を実践しようと必死の姿を見せてくれました。「剣道の修練の心構え」の中にある「剣道を正しく真剣に学び」、「心身を錬磨して旺盛なる気力を養う」ことを学ぶことができました。毎日、生徒たちが記入している体育ノートに沖島先生に読んでいただきましたが、生徒それぞれが自分と向き合い、剣道に打ち込んでいることが分かり、沖島先生もとても喜んでいました。（体育担当：嘉積 竜也）



事務室より

本校では崎原校区に住む地域の方にもPTA会員になっていただき、一世帯月300円の会費を納めてもらっています。2月14日（金）は「お別れ遠足」でしたが、そのバス代の一部40,000円をPTA会費から補助させていただきました。小規模校ではPTA会費等からの補助が難しく、少人数のためバス貸切における一人あたりの負担額が大きいことが課題ですが、本校ではありがたいことに地域の皆様のおかげで教育活動の充実及び保護者負担の軽減に努めることができます。本当にありがたいことです。今後も児童・生徒のためのPTA会費の支出に心がけていきます。よろしくお願いします。（事務主査 阿世知 理恵）

「最優秀賞」花づくり・花いっぱい運動 授賞式



2月23日に開催されました「奄美市まなび・福祉フェスタ」におきまして、花づくり・花いっぱい運動の受賞式がありました。本校は「最優秀賞」（1校）に輝き、校長と児童生徒会代表の島あいさんに表彰状と副賞が贈呈されました。来年度も学校と地域が一体となり、環境・美化活動に取り組んでいきたいと思っております。

3月の行事予定

- 3/ 1 (日) 総合選手権バドミントン大会
- 3/ 5 (木) 公立高校入試（1日目）
- 3/ 6 (金) 公立高校入試（2日目）
- 3/ 9 (月) いきいき生活ワーク～13日
- 3/10 (火) 卒業式予行
- 3/12 (木) 卒業式
- 3/13 (金) 公立高校入試合格者発表
- 3/15 (日) 市民清掃日
- 3/19 (木) 親子読書の日
- 3/25 (水) 修了式
- 3/27 (金) 離任式

